

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 30 号

発行 2016 年 05 月 20 日

発行人 中村 晃

目標は旬の野菜を自給自足

高 木 健



お世話になった筑後市から地元千葉県東庄町に戻り 1 年が過ぎました。鐘華会九州・山口支部の皆様には九州カネライト株式会社に在職中は大変お世話になりました。いろいろご支援を頂き感謝致しております。

東庄町は、関東平野の東端に位置し利根川の水利に恵まれた農業・畜産を主な産業とした凡そ東西 9 キロメートル、南北 10.5 キロメートル、で面積 46.25 平方キロメートル、人口 14,500 人、5,080 世帯の小さな町です。黒部川・利根川・常陸利根川の三つの川を挟んで隣接する人口 94,700 人の茨城県神栖市の鹿島コンビナートへは自動車です約 20 分の距離です。

コンビナートができたころは 4 時間かかった首都圏までも最近では便利になり、高速バスで行くと約 2 時間で行けるようになりました。閑静な田園地帯で早いところは 4 月 1 日に田植えをしています。町の鳥は利根川のあし原に生息している「コジュリン」といってホオジロ属の全長 14.5 cm、背面赤褐色で黒い縦縞上の斑紋がある鳥です。日本では、本州中部以北と熊本県に局地的に生息しているとの事で九州となにか縁を感じます。

東庄町に戻りまずしたのが長年放っておいた倉庫の傷んだ屋根、側壁の修理です。建坪約 39 坪の修理は、3×6 の波トタン凡そ 90 枚に相当し近くホームセンターより調達しました。購入枚数が多かったので店の前で職人さんに間違えられる事もありました。慣れない屋根上の作業は腰と脹脛への負担が大きく、

作業を開始した時は 1 日作業をするとどっと疲れたものですが、慣れてくると作業が進むことが楽しみになりました。思わず日々の変化を写真に収めるようになり完成した今、それを眺め一人満足しています。

倉庫の隣に 340 坪の畑がありここも荒れて雑草が生えていましたが、小型の耕運機を購入し作付を始めました。走行距離 14,000 km (10 万 km ではありません) の新車で購入した 16 年車の愛車の軽トラも最近では稼働率が高く重宝しています。

昨年種を蒔いたソラマメも順調に育ち収穫が楽しみです。昨年は大根・キャベツ・白菜・ブロッコリー・さつま芋等数種類の野菜を栽培し食しましたが採れたての野菜は格別です。その日食べる量を採取し料理し食べる贅沢な生活を堪能しています。ただ難なのは、種を蒔きすぎて収穫時思った以上に量が多く、知人に御裾分けしても余りその処理に困ってしまう事です。2 年目は収穫量を想定し種蒔き時期をずらす等しています。

町には 34 の行政区 (町内会) があり今年は町の区長会長を仰せつかりました。区長会長になると町の行政協力員・協議会・推進会議等の委員・理事の委嘱があり既に 5 つの委嘱書を頂きました。小学校卒業、入学式来賓・福祉協議会・町づくり会議等結構な行事があり初めての貴重な体験をさせて頂いています。徐々に新たな人脈もできつつあり、カネカ在職中とはまた違った緊張感の下、長年単身赴任等で地域の方々にはお世話になって要る事からできる範囲で地域に協力したく思っています。



氏神様とウォーキング

廣 政 誠



毎日のウォーキングのコースの一つに、氏神様である春日神社参拝があります。

「春日神社の由緒」

鎮座の経緯は1186年（文治2）周防の国司として下向された藤原氏が祖神である奈良の春日大社の分霊をお祀りしたと伝えられています。

その後、後白河上皇勅願所として阿弥陀寺が創建され、当時世の中が混沌とした時に奈良の都のように春日大社と東大寺、この春日神社と東大寺別院阿弥陀寺が祀られました。

ともかく、800年の盛衰史を知るものは鎮守の森である。

<御祭神>

タケミカヅチノ命（武神）・イワイ主命（国土平定の神）・アメノコ屋根命（祭祀の神）ヒメノ神（婦徳の神）である。

<主な神事>

1：大寒みそぎ

大寒の入りから3日間早朝と夕方、鎮守の杜の中にある水深85センチ・24平方メートルの水槽の冷水に入る。

禊は掛け声を発しながら境内を走り「エーイッ」の気合と共に老若男女が一斉に入る。男は褌、女は白装束。寒さに恐れをなし、小心な私には勇気がなく、いまだに見学のみです。

2：鬼まつり（神幸祭）

歴史は定かではないが、かつては鬼面を手作りした青年が面の出来具合を競い、親しい家や若い女性のいる家へ立ち寄ったとの由。

現在は子供や年寄りが多く特に餅まきは人気で大勢です。毎年行われるこの祭りは10月上旬で、まず全員がお祓い受け境内を鬼と共に御輿を担ぎその後、地区の（人口約1万人）10数か所の公民館・公園などを子供たちの太鼓隊と神主と共に回ってお祓いをします。

（御輿はトラック・他の裸坊と子供たちはマイクロバスで約40名）

各所で接待を受けながら3～4時間かけて回ります。接待はそれぞれの地区で、お酒や婦人会の心のこもったおにぎり等などとても美味しいのですが、ビール・歳と10月で少し寒いせいカトイレは長い列ができ時間も短いこともあり落ち着かないのが残念です。

今年は裸坊として参加しました、白装束は貸してもらえますが前回も参加したので自前です。勿論御輿は担がずワッショイの掛け声だけです清々しい気持ちになります。

昔から色々な祈願・お祓いをお願いし、参拝は元旦の歳旦祭から毎月の初めに必ず参ります。信心深いわけではありませんが、現代は頼るものが持てない不安を感じる時代です。いったい何に頼れるのかと感じるとき、見えない何かへの信頼感か、それへの畏れを実感したいと考えるからでしょうか？

その気持ちもあり氏神様へお参りをすると気持ちが少し爽やかになります。すると来月も思うので続いています。





この氏神様のウォーキングのコースは山の裾野にあるお社まで片道約45分です。田舎ゆえに景色は昔とあまり変化なく、山や川を見るたびに60年前の昔を思い出します。

歩き始めて20分、昔懐かしい小川沿いの今は数の少なくなっている桜並木のある通学路を通り小学校（校舎の面影はなく、石の門柱だけ残っています）を横目に見ながら、川沿いを進むと10分で山陽自動車道の下を抜け、田畑の中の参道を上り到着します。

冬はモノトーンの夜景の中に星や月の輝きを眺め又防府の市街地の明かりの一部を見、春は鶯・雲雀の鳴き声を聞き桜や新緑を楽しみ、夏は田んぼの蓮華の花・燕が飛来して田植えから刈り取りまでの稲の成長を眺め、秋は道端の赤や白の曼珠沙華を見つかけたり山の紅葉を味わったりしながら1年を通して自然の営みと変化に感激しながら歩いています。



ウォーキングについて、年間を通して毎日5時にスタートして約1時間20分（約11000歩）を1日も休まず今年1月末で10年間（3月末現在3712日INGーギネスはいくつ？）歩きました。

在職中の都会での8年はかなり無理をしてがむしゃらでしたが、帰省しての今の10年は毎日が日曜日のせいで十分に田舎の美味しい空気を味わいながら楽しんでます。

早朝ウォーキングをしてみるとヘッドライトを付けてジョギングをする人など面白いことや新しい発見があって面白い。

中年以上になると基礎代謝が低下して、必要な栄養素をエネルギーとして燃焼する能力が次第に衰えてくる。特に脂肪の分解が悪くなり太りやすくなる。

本などによると、スピードに関係なく30分以上続けるとエネルギー消費の6割が体脂肪でまかなわれ、理屈の上ではダイエット効果がある。その他にも風邪をひかなくなる・生活習慣病の予防・心臓病から遠ざかれる・よく眠れる等など。

私に当てはめてみると風邪は20年ひいたことがない、元気に遊べていることか？家にいてストレスを貯めるより、太陽の光や大きな自然は人を健康にする力があり気持ちよくなる。健全な精神は健全な肉体に宿るとも言います。

良い靴を買って始めてみてはどうでしょう！



pixta.jp - 17783186

近 況 報 告 (柳川散策 返信)

(欠席)

山中 俊一 元気で平凡に毎日を過ごしています。
坂元 均 元気でやっております。特に報告事項はありませんが、強いて書きますと、先日イギリス・ロンドン在住でフランス人の女性(妙齡)が我家にホームステイして帰っていきました。薩摩黒毛和牛の焼肉——いつか再び食したいと思ったかどうか、喜んでいました。

薬師寺 是文 大阪和泉市の自宅庭の小さな畑で野菜作り、スポーツジムのサウナで過ごす日々を送っています。時々大分県の家に戻り掃除、お墓参りなどしています。

上野 賢二 元気にやっています。柳川で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。(後日、会議の為、出席出来ないと連絡がありました)

石原 晋一郎 近況は後日報告しますが、年は取りましたが、まあまあというところです。

武田 敏光 相変わらず毎日、元気にやっています。

池野 治彦 今回は小生取りやめたいと存じます。お蔭様で元気に暮らしています。

園 博 新しい会社にお世話になって9ヶ月が経過。なかなか思うように進んでいなく苦戦の日々が続いています。私自身は体調も良く日々を過ごしております。次回は参加出来るようにします。

西村 和夫 少しずつ暖かくなってきましたが、インフルエンザが流行っています。皆様お身体をご自愛ください。

成相 定雄 毎日の生活リズムが安定せず、日々をバタバタと過ごしています。ただ解るのは日々体力が減っていることです。又、ゴルフの練習でも始めようかと考えています。

永井 辰夫 今年は三回目の自治会長となり、忙しくなりそうです。

岩出 進 健康維持の為、テニスを楽しんでいます。

真部 邦明 風呂場の全面改修をした結果、日曜大工にはまってしまいました。家が古いため1ヶ所を手直しすると他が気になって、次から次やることが増えました。それでも、新しい湯船につかってアイデアを考えることが楽しみにしています。会社時代の設計を思い出してかなり凝ったものになって、大工道具も増えました。

市木 丞 日々楽しく元気に過ごしています。

(出席)

檜崎 賢治 年々一つ一つの動作がにぶなくなってきました。どうにか生きております。

上野 與志隆 家にジットしていることの多い此の頃です。2月に強打した肋骨の痛みもやわらぎ、先日、東九州自動車道造成に唯一反対していた豊前のみかん畑の隣の丘に河津桜を見に行きました。

橋本 滋 午前中はスポーツジム通い、午後はパソコン相手に囲碁、将棋と何ら変哲もない毎日を過ごしています。年1回の定期健診も異常なく(コレステロール値が少し高いが気にする程ではないとの事)ヤレヤレです。

川上 義人 認知症予防のつもりで、ゴルフ練習場のシニア会の会長を受けましたが、毎月のことで結構忙しく、案内状の往復ハガキの作成、賞品の割り付け、組み合わせ、馬券の作成等で4~5日はつぶれるので、少し重荷になってきました。前任者が10年余りやって居られたので、小生もあと6~7年はやらなければならないと思う気が重くなります。

王寺 常雄 2月に軽い肺炎にて入院致しましたが、何とか持ち直しておりますので、ゴルフに参加いたします。

竹内 久善 若鷹同様元気にしています。

池田 広治 相変わらず住宅建築を現役でやっています。そろそろ息子に代表を譲る時かなといったところです。(地震の為、仕事が忙しく欠席)

廣政 誠 今年1月末で1日も休まず早朝ウォーキングが満10年(現在もing)になりました。いつまで続くか?効果は、よく食べ、楽しく遊んでいること。

小林 憲二 九州カネライトに着任して2年が経過しました。九州の建築市場は好調とは言えない中でも安心・安全が最優先での生産、加えて設備の老朽化対策で奔走しています。営業畑から慣れない製造畑2年目で、落ち着かない毎日を送っておりますが、地元福岡に帰れて週末を家で愛猫や孫と過ごせる時が落ち着くときです。退職記念に子供たちから水彩画の道具をプレゼントしてもらったので、まず1枚描くことが当面の目標です。

中村 晃 昨年後半に痛み出した脊椎管狭窄症は、檜崎さん紹介の医院でのブロック注射で、今のところなんとか治まっています。

柳川散策と懇親会



平成 28 年 4 月 25 日（月）14 時 30 分に西鉄柳川駅に集合。（熊本地震の影響もあり 8 名と少な目でした）

柳川市立歴史民俗資料館（北原白秋生家）を見学。白秋を偲ぶ品々と慈み育んだ柳川の歴史及び当時の生活環境や、数々の童謡の作詞は勿論、多くの学校の校歌や会社の社歌を作詞したことを学んだ。

その後、町を散策し、柳川藩主立花別邸「御花」へ移動。歴代の立花氏が住まいとしたところです。明治時代に伯爵となった立花寛治が 7 千坪の庭園と西洋館と本館（和風）を造営した。（屋根や壁など所々に 4 月の熊本地震の影響がみられた）

大相撲の先々場所で優勝いた「琴奨菊」が地元でここで結婚披露宴をしたので、全国的に名が広がったと思います。

その後、川上り（有明海に向かうのが川下り、逆を川上りといいます）をしました。柳川城を守るため、石垣の代わりに堀を巡らせ底は潟のままにした。

これは、騎馬での襲撃を防ぐためだそうです。今でも、船の竹竿は底に鉄棒を入れたものを使っている。各家で堀に面した所に水汲み場があり、昔はそこで洗い物などしていたようだ。

対岸は水性植物が植えられた庭園などがあり、皆で景観を良くしようという努力が感じられた。

また、船会社毎に船べりの色が違うとか、船頭さんの説明や歌を楽しみました。

「御花」で乗った船を、懇親会会場の「白柳荘」の対岸で下りて、懇親会のみ参加の 1 名を含めて 9 名で、いつもの様に皆の近況報告を肴に、お酒と料理、そして最後のメに「うなぎのせいり蒸し」を楽しみました。



檜崎 賢治 記

第 15 回山九会ゴルフコンペ報告

1. 開催日：平成 28 年 4 月 26 日（火）
2. 場 所：佐賀カントリー倶楽部
3. 成 績

順位	氏 名	NET	順位	氏 名	NET
優勝	廣政 誠	73.0	4	坂本正志	78.2
2	上野與志隆	73.4	BB	竹内久善	79.2
3	川上義人	76.0	6	橋本 滋	82.2

4. 講 評：

① 熊本地震の直後でもあり、参加者の少ないコンペとなった。佐賀カントリークラブは吉野ヶ里遺跡のすぐ東に広がる丘陵地で井上誠一設計の名門ゴルフ場。コースは確実に上手な選手向きで、“ラッキー！”を許さない戦略的難コースである。6 名がグロス 100 切をめざしたが、ベスグロ優勝の広政選手以外は煩惱の鐘を叩くスコア。優勝者は賞金をにこにこ受け取るも、ドリンク代に廻され元も子もなくした。これで賞品の宝石の取りきり有資格（3 回優勝）は橋本、上野、広政の 3 選手となった。

② 一組目の広政、上野、坂本選手は、ティショット、グリーン回り、パット（28 パット）と安定している広政選手がグロス 91 で圧倒的に強い。また坂本選手は、他二人がフロントよりのティアップに対し、一人レギュラーからのティアップで負担があったか？フェアウェイでつまずく。しかしグリーンへのアプローチはたいしたもの、相当腕を上げている。上野選手はグリーン回りや池に泣かされ、また 3 パットが普通で 4 パットも数回出て散々だったが HD に助けられ 2 位に入る。

③ 二組目は、橋本、川上選手の中に飛ばし屋の竹内選手が入り、老トル組は調子が狂ったようだ。川上選手は 3、4 パットばかりと、パットに泣かされ、橋本選手は、今回もお手上げ、云うことなしのと泣きの返事。ところが飛ばし屋竹内選手はティショット、フェアウェイには満足するもグリーン周りで苦戦。ホールアウトするのにグリーン周りで必ず 5 打を必要。上がってみれば恐れるに足らずのようだった。

④ 「マア、今回は雨を覚悟していたのが、予報に反して晴れの良い天気。また実力者向きの立派なゴルフ場を楽しく廻れただけでも良しとする。実力者の広政選手の連続優勝に敬意を表して解散！」となった。

上野 與志隆 記

【平成28年度支部活動報告】

◇ 既に実施した事項

年	月	日	活 動 内 容
28	01	27	(全体役員会)
	02	01	(鐘華 74 号)
	02	09	支部幹事会 (黒崎)
	04	25	柳川散策&懇親会 (9 名)
	04	26	第 15 回山九会 GC・佐賀 CC (6 名)

◇ これからの予定

年	月	日	活 動 予 定
28	05	20	支部だより 30 号発行
	08	01	(鐘華 75 号)
	08		(全体役員会)
	08		支部役員会
	11		第 17 回支部例会
	11		第 16 回山九会 GC
	11		支部だより 31 号発行

(特記事項)

- ・柳川散策、山九会 GC については別に記載。
- ・今年の例会は、思案中。乞う！グッドアイデア！
- (会員移動)
- ・特になし。

【支部活動費 27 年度報告及び 28 年度予算】

(単位：円)

項 目	27 予算	27 実績	28 予算
支部だより関連	14,000	13,318	14,000
例会写真代等	1,000	1,240	1,500
春の行事関連	5,000	4,210	5,000
幹事会通信費補助	4,000	4,000	4,000
例会関連	6,000	4,454	5,500
その他	0	130	0
合 計	30,000	27,352	30,000

(特記事項)

- ・「支部だより」を例会や行事の後に発行することにした。

【定例役員会報告】

- ◇ 平成 28 年 1 月 27 日 (水)、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

- ◇ 主な内容は下記の通り。

① 原会長挨拶

- ・社会貢献活動への取組：社活委員会を設立し、「鐘華」で紹介。
- ・若手会員の活動への参加促進。
- ・女性会員の参加促進
- ・HP の見直し
- ・カネカとの関係の再構築

② 各支部の活動報告、活動計画について

- (高砂)
 - ・新建屋 (社宅自治会、鐘華会共用) の移行フォロー
- (大阪)
 - ・滋賀支部との交流イベントを実施。今年度も共同開催行事を検討したい。
 - ・勤務している会員にも参加しやすい行事を計画したい。
- (滋賀)
 - ・今年度は大阪支部や本社支部との共催イベントを開催したい。
- (鹿島)
 - ・支部例会にて支部長を高木健さんと交代予定。
- (東京)
 - ・若手会員や女性会員を取り込むためのイベントを検討中。
- (本社)
 - ・美術工芸同好会の出展数が少なかったため、絵画と写真の同好会で開催することにした。
- (九州)
 - ・毎年、職場訪問を実施していたが、諸般の事情から、「まち歩き」に変更した。来年度からはまた改めて検討したい。

あとがき

- ・熊本地震で被災された方々に、お見舞い申し上げます。会員の皆さんには大きな被害はなかったようで安心しました。前震と本震があるとは初めて知りました。地震学者はもっとまじめにやれ！！
- ・高木さんが九州を離れて 1 年過ぎたので、近況を報告してもらった。すっかり農家のおっさんです。
- ・廣政さんは昨年近況報告で「裸坊にでた」とのこと。どういう行事か良くわからないので、早朝ウォーキングをふくめて書いてもらった。10 年間毎朝欠かさず一まきに「継続は力なり」。
- ・「支部だより」も 30 号 (15 年) です。皆様のご協力のお陰で、何とか続けていますが、そろそろ誰かにバトンタッチしたいのが本音です。誰か助けて！！